

91 イヌワシ

(タカ目)

兵庫県ランク: A

Aquila chrysaetos

繁殖個体群:A 越冬個体群:A 通過個体群:A

◎国内希少野生動植物種 ◎天然記念物

環境省ランク: EN

種の概要

アフリカ北西部からヨーロッパ、中央アジア、中国北部、朝鮮半島、日本、北アメリカなどに繁殖分布する。日本では、主に本州に繁殖分布する。北海道、四国、九州でも記録されているが、四国では迷行的渡来、九州ではほぼ消滅状態にある。深い山地に生息し、岩棚や高木の枝上に営巣する。秋冬には丘陵地や平地、海岸にも飛来することがある。ノウサギやヤマドリ、大型のヘビ類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、対馬、壱岐



写真提供：三谷康則

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、西宮市、豊岡市、宝塚市、★養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、多可町、神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では局地的ではあるが周年生息し繁殖する。かつては山地に広く分布していたが、開発の時代に急減した。1970年頃にはまだ20羽程が生息していたが、1980年以降の繁殖状況が非常に悪くなり、1990年には但馬地域で2巣分の雛2羽が確認されたにすぎない。最近では、2004年に美方郡で繁殖が確認されて以降繁殖記録はなかったが、2023年に20年ぶりの繁殖及び巣立ちが確認された。

保護上の留意点

営巣地周辺での厳しい開発規制と入山規制および餌場を確保するための植林地の定期的な伐採が重要。さらに本種の回復のためには、かつての繁殖地の営巣場所周辺の保全・再生も重要。